ひと

鎌倉市中央図書館 館長に就任した 栗原 章郎（くりはら あきお）さん

プライアンス課長。33年の市職員生活のなかで、障害者福祉や保育関係の担当が半分を占める。市教委の部局は初めてだ。

「これまでは外から見ていたが、中に入って、職員がそれぞれ熱意をもって取り組んでいるのを、目の当たりにした。仕事は大変でも助け合っていけば乗り切れる」。

今年度は鎌倉市の「第3次図書館サービス計画」と「第3次子ども読書活動推進計画」の最終年度。次の子ども読書活動推進計画の策定に向けた連絡会が3月に発足した。パソコン、スマホ、ゲーム機と、子どもを取り巻く環境が変化し、読書の時間が減っている。図書館を中心に保育園、幼稚園、学校などの関係者が集まり、活字離れをなくす知恵を絞っている。

3年前には「読書バリアフリー法」ができた。障害者や高齢者、外国語を母語とする人らに、活字文化に接する機会を提供する取り組みも進む。中央図書館の2階には、視覚障害者のために本を読みあげてくれる機械「よむべえ」や、拡大読書機が置かれている。

読書好きは母親譲りだ。母親に頼まれて、図書館の本を借りてくることも多かった。その母が昨年12月に亡くなった。最後の1年は視力が落ちていたが、本を読みたいという気持ちは強いままだった。

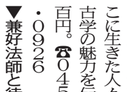
NHKの大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の影響で、「源頼朝の絵がありませんか」などと、メディア関係や市外からの問い合わせが増えている。今年、開設111年。神奈川県で最も古い図書館である。「市民の身近な図書館であり続けたい」と話している。56歳。（文・写真 真田正明）

みる

▼川喜多映画記念館 企画展「追悼・山内静夫 松竹大船撮影所物語」
6月12日まで。鎌倉に生き、鎌倉を愛した名プロデューサー作品を偲び、松竹大船撮影所と映画文化の歩みを辿る。2百円。
▽関連上映 6月1・3日14時、4日10時半「滝を見にいく」2・4日14時「東京ウィンドオーケストラ」3日10時半、5日14時「恋人たち」7日10時半、8・10・12日14時「鴻」7・9・11日14時、12日10時半「利休」各千円、小中学生5百円。☎23・2500

▼現代美術 草間彌生・李禹煥 他 ギャラリー伊東
☎24081

▼草野啓利 吹き方ラス展
6月30日までギャラリー一翠堂。無料。☎22・3769



▼村田良策記念アトリエM合同展
6月5日まで鎌倉生涯学習センター。創立54年のアトリエM（主宰・村田佳代子さん）3教室生の水彩、パステル、デッサン。名画模写作品など110点。☎22・1759

▼北条氏展vol.2 鎌倉武士の時代―武士の姿への憧憬
6月12日まで鎌倉国宝館。鎌倉武士が画題の浮世絵版画や屏風絵、武具の展示。7百円。☎22・0753

▼いのちと平和を考える映画祭
6月10・11日、逗子文化プラザ。10日10時半・11日14時「荒野に希望の灯をともす―医師・中村哲の35年間の実践と思索」。

きく

▼鎌倉の15人
6月8日19時、鎌倉生涯学習センター。時空を超えた文化の出逢い。室内合奏コンサート。ビバルディ四季より「春」ほか。かまくらコレクションの中から24点のさわれる彫刻作品を展示。多様な素材の感触を楽しむ。2百円。☎22・5000

ケネス・アーミテージ　訪問者たち　1961　ブロンズ　神奈川県立近代美術館蔵

▼これってさわれるのかな？彫刻に触れる展覧会
6月11日～9月4日県立近代美術館鎌倉別館。コレクションの中から24点のさわれる彫刻作品を展示。多様な素材の感触を楽しむ。2百円。☎22・5000

▼洞窟遺跡を掘る―海蝕洞窟の考古学
6月26日まで県立歴史博物館。県立歴史博物館が発掘した間口洞窟遺跡など三浦半島の洞窟遺跡で出土した資料から、そこに生きた人々の姿、考古学の魅力を伝える。7百円。☎045・201・0926

▼兼好法師と徒然草
7月24日まで県立金沢文庫。「徒然草」と歴史史料から兼好と彼の生きた時代を読み解く。5百円。☎045・701・9069

▼湘南コンサートの会 鎌倉からパリへ～国際的ピアニスト鈴木隆太郎
6月4日13時・15時半。藤沢リラホール。ベートーヴェン「熱情」リスト「ドン・ジョバンニの回想」など。3千円、学生2千円。同会☎080・7383・7617

▼躍動のチェリスト宮田大 with 湘南エールアンサンブル特別公演
6月30日18時、藤沢市民会館（19時半頃終演予定）。ドボルザーク「チェロ協奏曲ロ短調作品104」、シューベルト「未完成交響曲」など。350円、学生5千円。湘南エールアンサンブル☎080・7383・7617

宮田大さん

▼Tango Nuevo2
7月10日14時、鎌倉生涯学習センター。タンゴ界の革命児ピアソラ生誕百年記念コンサートの第2部。鈴木崇朗さん（バンドネオン）、村田望さん（歌）らで「アディオス・ノニーノ」など。4千円、小中学生2千円。スタジオエスポワール☎090・2507・0031

©志立育
鈴木崇朗さん

さんか

▼鎌倉ガイド協会 古都鎌倉史跡めぐり
A 鎌倉文士の愛した雪ノ下、西御門を歩く 6月3・7・9日9時半鎌倉駅西口時計台広場集合。鎌倉駅から川喜多映画記念館まで約3㎞。
B 潮騒の調べに小坪の歴史を紐解く 6月20・22・28日9時鎌倉駅西口時計台広場集合。亀の前事件、頼家相撲高覧ゆかりの地小坪を巡る。約15㎞。
C 花爛漫の大船へ「そうだ！植物園へ行こう」 6月16・24日9時半大船駅南改札集合。大船観音寺、大船フラワーセンター。約2㎞。

▼鎌倉市民図書館（☎25・2611）は4月に一般200冊、児童書10冊を収蔵した。一般的なものは下記の通り。
▼「世界の「頭のいい人」がやっていることを1冊にまとめてみた」中野信子著　アスコム▼「日蓮の手紙」日蓮著　植木雅俊訳・解説　KADOKAWA（角川ソフィア文庫）▼「源家滅亡―尼御台所政子と北条義時の時代」菊池紳一著　山川出版社▼「源氏の血脈―武家の棟梁への道」野口実著　講談社（講談社学術文庫）▼「北条義時と鎌倉がわかる」毎日新聞出版（毎日ムック）
▼「最後の講義完全版これからの時代を生きるあなたへ―安心して弱者になれる社会をつくりたい」上野千鶴子著　主婦の友社▼「和辻哲郎建築と風土」三嶋輝夫著　筑摩書房（ちくま新書）▼「古民家再生物語―築百年（明治末期）の古民家再生工事その全容」長谷川和男著　南風舎▼「森と木と建築の日本史」海野聡著　岩波書店（岩波新書）▼「図説なつかしの遊園地・動物園」生田誠著　河出書房新社（ふくろうの本）
▼「お金のなる木を育てなさい―世界一やさしい副業・投資の始め方」小林昌裕著　朝日新聞出版▼「禅と出会う」横田南嶺著　春秋社▼「ビジネスエリートの必須教養「世界の民族」超入門―世界96カ国で学んだ元外交官が教える」山中俊之著　ダイヤモンド社▼「EXTRA LIFE―なぜ100年間で寿命が54年も延びたのか」スティーブン・ジョンソン著　朝日新聞出版

購入新図書のリスト抄
鎌倉市中央図書館（4月分）

まなぶ

▼鎌倉生涯学習センターフェスティバル
6月24・26日。▽発表部門　朗読、コーラス、楽器演奏、舞踊、合唱など。▽展示部門　水墨画、書道、デッサン、手芸。バザー、映画上映、人物画講座も。☎25・2030

▼第11回歴史講演「鎌倉殿と小坪・吾妻鏡から見える不思議な小坪領域」
6月12日10時、逗子文化プラザ。講師は鎌倉考古学研究所理事・伊藤一美さん。7百円。逗子の歴史を学ぶ会小坪☎090・8916・9274

▼こどものための手作り絵本講座
7月9・16・23日13時半。「沈黙」「深い河」などから人間を考察。無料。e-kanagawa。電子申請。7月6日締切。☎着。☎33・0712

【大船学習センター】
遠藤周作文学の世界を見る 7月4・11・18・25日13時半。講師は絵本作家山本省三さん。2千円。小学生以上対象。逗子文化プラザ☎046・870・6622

▼学習センターの催し
鎌倉市在住者優先。申込は催し名、住所、氏名、☎を明記し往復ハガキで各センターへ。

【逗子学習センター】
ズンバで楽しくフィットネス 7月5・19日13時半。無料。岡本2―16―3。20日必着。☎44・2219

【大船学習センター】
ポルトガル語講座「入門クラス」 7月13・20・27日、8月3日18時半。腰越864。7月7日必着。☎33・0712

【鎌倉生涯学習センター】
南インド古典舞踊インド神話・文化 7月17日14時。古典舞踊の演舞、神話や文化の紹介。無料。腰越864。7月7日必着。☎33・0712

【腰越学習センター】
ヨガ 7月7・14・21・28日10時。ヨガ。無料。大船2―1―26。20日必着。☎45・7712

【逗子学習センター】
ヨガ 7月7・14・21・28日9時。ヨガ。無料。逗子2―1―25。20日必着。☎45・2030

多世代交流～子どもから大人までだれでも参加・楽しく交流～

鎌倉市在住の小学生以上対象　6月1日9時から各センターへ申込（先着順）

施設名	催し名	日時
名越やすらぎセンター ☎25・1188	ピラティス体験（無料）	6月11日14時
	ラジオ体操講習会（無料）	7月9日10時
腰越なごやかセンター ☎31・0800	パン作り教室（500円）	6月12日10時
	ナイフを使わないで作る消しゴムはんこ（400円）	7月31日10時
教養センター ☎32・1221	相撲術で心と体を健康に（無料）	6月26日10時
	豆腐作り教室（200円）	7月2日10時
今泉さわやかセンター ☎45・4611	はじめてのヨガ	6月26日13時半
	夏バテ予防の筋トレ教室（無料）	7月30日13時半
玉縄すこやかセンター ☎47・1338	保護犬・保護猫を学ぶ（無料）	6月18日10時
	とうもろこし収穫とピザ作り（500円）	7月30日10時

季節の心 ㊼

海の囁きを聴く

佐伯 仁

●真珠は育つ母の愛で
6月。誕生石は真珠。古来、真珠は貴重な交易品。「魏志倭人伝」には倭国の特産品に「真珠・青珠」を挙げている。

中国では水中の宝は珠、山の宝は玉と呼んでいる。なかでも古代中国では真珠は瑪瑙や琥珀と共に貴重な七宝。

また我が国、正倉院には聖武天皇の礼服、冠の装飾品としてビーズで繋いだ真珠3830個が収蔵されている。ヨーロッパへはシルクロードを経て真珠は「オリエントの富」と讃え、支配者の象徴になった。マルコポーロもコロンブスも日本の真珠に憧れた。

画家フェルメールも少女の真珠の耳飾りに魅かれ絵筆をすすめた。またフランスの詩人、コクトーの「私の耳は貝の殻、海の響きを懐かしむ」の詩句は真珠の心を呟いたモノローグではないか。

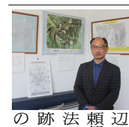
一方、江戸期、長崎大村湾の真珠は盛況を博したが、やがて御木本幸吉が1894年（明治27）に真珠養殖に成功。日本真珠ブームが到来。

現代ではオーストラリアやタヒチで養殖は盛んで時代の推移が窺える。

海育ちの真珠には母の温もりがある。それは漢字の海には「母」がいるからか。

刻々と真珠は育つ
夏の海　松尾いはほ

鎌倉城の遺構をさぐる 鎌倉の城郭展



法華堂跡周辺の調査

鎌倉市植木の龍寶寺境内の玉縄歴史館で「鎌倉の城郭展」が開かれている。鎌倉在住の日本画家で歴史研究家の大竹正芳さんが「写真、30年ほど前から日本城郭史学会の仲間たちと鎌倉幕府滅亡の地である東勝寺跡周辺、源頼朝墓、法華堂跡周辺、観図や遺構図なども展示している。玉縄城址まちづくり会議主催。

9月13日まで。入館料2百円。☎45・7411

美術館・文学館めぐり

県立近代美術館 鎌倉 ☎22・5000	これってさわれるのかな？―彫刻に触れる展覧会	館所蔵の彫刻作品に触れ感触を楽しむ	6/11～9/4 250円
県立近代美術館 葉山 ☎046・875・2800	アレック・ソス Gathered Leaves	初期から最新作までの代表作など	6/25～10/10 1200円
鎌倉国宝館 ☎22・0753	北条氏展vol.2　鎌倉武士の時代―武士の姿への憧憬	武具などから武士本来の職能を知る	～6/12 700円
鎌倉文学館 ☎23・3911	鎌倉時代黎明　文学で読むはじめのはじまり	鎌倉時代黎明期を文学作品で辿る。	～7/3 500円
鎌木清方記念美術館 ☎23・6405	日本画の美―清方とゆかりの画家たち	清方を中心に小杉放菴や山口蓬春など	～6/26 450円
鎌倉市川喜多映画記念館☎23・2500	追悼・山内静夫 松竹大船撮影所物語	山内氏を偲び、撮影所の歩みを辿る	～6/12 200円
鎌倉歴史文化交流館 ☎73・8501	北条氏展vol.2 ―幕府草創を支えた宿老たち	鎌倉武士の「武」と「文」の2面性を知る	～6/11 400円
大河ドラマ館 ☎39・5306	於：鎌倉文華館鶴岡ミュージアム	あらすじや撮影用衣装や道具を展示	～1/9 1000円
北鎌倉葉祥明美術館 ☎24・4860	新刊原画展『葉祥明の世界―幸せへの道案内人』	過去作から作品を集めた新刊の原画展	～7/29 600円
県立金沢文庫 ☎045・701・9069	兼好法師と徒然草 ―いまを明かす兼好法師の実像	兼好が生きた時代を文化財から読み解く	～7/24 500円
山口蓬春記念館 ☎046・875・6094	山口蓬春と四季の移ろい―蓬春が描いた自然の息吹	6/11～山口蓬春　新日本画への飛躍	～6/5 600円
藤澤浮世絵館 ☎0466・33・0111	美人東海道の風景にみる国貞と広重のつながり	保永堂版東海道（復刻版）と同時展示	～6/26 無料
横須賀美術館 ☎046・845・1211	フランス・モダン・ポスター展	近代からアール・デコの作品約110点	～6/19 1300円
茅ヶ崎市美術館 ☎0467・88・1177	ヨーロッパ古典絵画の輝き―模写に見る技法と表現	6/14～第40回茅ヶ崎美術家協会展（無料）	～6/5 800円
大佛次郎記念館 ☎045・622・5002	実朝と桜子―大佛次郎が紡いだ武士と雅	時代小説『源実朝』と『桜子』を紹介	～8/21 200円
神奈川県立歴史博物館 ☎045・201・0926	洞窟遺跡を掘る―海蝕洞窟の考古学	三浦半島周辺から出土した資料の展示	～6/26 700円
そごう美術館 ☎045・465・5515	空箱職人はるきる展 Miracle Package Art	空箱をアート作品に変化させた作品約60点	～7/3 1200円

心のふる里を行く ㊻

神道と古事記が伝える日本人の生き方之

池田雅之

4月中旬、4年振りに生まれ故郷の二重県に妻と泊二日の旅をした。コロナ禍の影響で遠出が出来なかった性いである。今回の旅の目的は、三重県鈴鹿市にある椿大神社と宮司山本行恭氏との不思議なご縁に導かれての対談であった。

この3月末、ロシア軍によるウクライナ侵攻に心煩わされていたので、ふる里の椿大神社に参拝し、初対面の山本宮司とお話が出来るのは、大いなる喜びであった。この対談の様子は、人間学を学ぶ月刊誌「知致」5月号に「子々孫々に遺しておきたい日本の心」と題して紹介されている。私にとってこの対談は、世界平和を達成してゆく神々なのである。

そんな思いを抱いて矢先、山本宮司との祈りの対談が実現したのは、「知致」編集部の導きとはいえ、私には、大いなるシンクロニシティーであった。

というのも、椿大神社は伊勢国一の宮で、まさしく猿田彦大神とアメノウズメ命の夫婦神社であったからである。

山本宮司（右）と筆者（撮影・斎藤文護）

2月下旬、ロシア軍のウクライナ侵攻が始まって以来、古事記の道開きの神・猿田彦大神と困難き状況に風穴を開けるアメノウズメ命の二柱の夫婦神のドラマがしきりと思い出された。この猿田彦大神とアメノウズメ命の夫婦神社は異なる二つの世界（国津神＝地＝世界と天津神＝天上世界）をつなぎ、世界の平和を達成してゆく神々なのである。

そんな思いを抱いて矢先、山本宮司との祈りの対談は、世界平和を達成してゆく神々なのである。

猿田彦大神とアメノウズメ命の夫婦神社であったからである。椿大神社は、猿田彦大神を祀る全国2千余社の大本宮として、創設2025年の歴史を刻んできた古社である。

そして、創設から、日本人の心の底に流れている神道の教え、「かんながらの道」について、お教えをいただいた。

山本宮司は、神道の教えは、生活の実践の哲学だとおっしゃった。人として踏むべき道や常識に添う生き方が、神道の基本の教えである。つまり、「かんながら」とは神の御心にそって、人間として歩むべき道を歩むことだという。

『古事記』には、人道にもとる行為（天津罪と国津罪）といった日本人のモラルの有り方がはっきりと記されており、その意味で、古事記は神道の教えの良き教科書ともいえる。子々孫々まで伝承しておきたい神道の教えが満載されている。

神道の教えは、「ものの命を観る」ことの大切さを教えている。

今日のコロナ禍とウクライナ侵攻を考える上でこの夫婦神の神話は示唆的なものがいくつかあるように思う。

（早稲田大学名誉教授・鎌倉でらこや顧問）

鎌倉朝日歌壇

木村 雅子 選

余念なく庭仕事する友を訪ふ不要不急の豊かな時間　玉縄 杉山ますみ

下句がいい。友の充実した時間を共有しての充実感。われを呼ぶ甘やかな声も笑顔もなく女の孫颯爽と自転車で去る　葉山町 近藤美知子

幼い頃との変化に、淋しいが成長を感じている作者。「根性では治りませんよ　若くない」ベテラン医師はさらり告げたり　岡本 鳴海 紀政

「ペテラン」「さらり」だからこそ、堪えるが納得。

早朝に目力強き写メ届く手術ガンバレと孫三人から　大船 小笹岐美子

波音のとどくみ堂に手話親子はるかに島と巨船がかすむ　横浜市 矢沢 寿美

手折り来て水に挿したるハルジオン生活生きとしてここにありたり　藤沢市 青木寿美子

戦場に勝者敗者の区別なしみな夢をもつ若き兵たち　藤沢市 宮塚 肇

気配とはこんなに感じるものなのか見知られたり目が動くなり　城廻 塩田 文子

夜毎読む聖書の言葉クリスチャンの友のメールの「思い」わずらうな　材木座 有野美芳子

農なれば迷うことなしコロナ禍に今日の仕事はナス苗植付け　寺分 田中 快昌

一群れの蓑我乱れ咲く崖の隙花踊るがに紋白蝶舞ふ　今泉台 下田 和夫

鎌倉朝日俳壇

星野 高士 選

〈天〉春潮に軋み大きく舫び船　山ノ内 高橋 仁

鎌倉の海でよくみられる景色をうまく伝えてくれた。何よりも描写が的確。また、春の潮も生きている。

〈地〉板前が今夜の自慢初がつお　藤沢市 黒田まもる

いきのよい初鰹が見えてくる作品。板前の方に視線が向いているのが俳諧味があった。

〈人〉花いかだ鯉のせびれに乱れたり　藤沢市 三浦和子

まっすぐに流れ去ると思ったが、鯉の背鰭にぶつかって乱れたのである。人生観につながる場面でもあった。

春らんまん路地の公園ベンチだけ　腰越 松原 薫

春爛漫とはいえベンチだけでは少し物足りないところ。

若葉雨目に日に山のふくらめる　逗子市 塩谷あい子

いろんな自然が山を膨らませるのであるが、この若葉雨は季題として適切。若葉自体も育っていくのである。

花筏つきくるもあり離るるも　植木 風見 玲子

写生句は見たところをどう言葉にするか面白い。一句だから下五の表現によって動きまで伝わってきた。

黒南風や雨音のして犬吠える　辻堂 柳 文子

地蔵仏撫でる桜や本覚寺　城廻 塩田 文子

大輪の社丹の花に風そよぐ　材木座 手広 高口 道宏

瀬の音に混じりてゆき鳴河鹿笛　大船 添田 洋子

義時にゆかりの寺や山桜　小林 貞夫

短夜や出船守る富士の峰　腰越 七海 定雄

釣り竿に魚信待つ霧海霧の朝　台 魚住 藤明

桜しべ過ぎ去りしこと語るなく　藤沢市 青木美美子

江の島に残る砲台花海桐　藤沢市 片瀬 中村 喬

八十八夜貧農園に入あふれ　葉山町 森田 順子

旧友の便り稀なり竹の秋　横浜市 大塚寛代子

一山の島のにぎやか虚子忌かな　横浜市 矢沢 寿美

飛ぶ如く暗雲走り来春疾風　成田 保子

≪投稿募集≫
●ペット紹介　写真・紹介文と住所、氏名、☎明記。掲載後写真をカレンダーにして贈呈。info@kamakura-asahi.com
●歌壇・俳壇
ハガキ1枚に3首（句）まで。同じ面に住所、氏名、☎を明記。1面題字下住所の鎌倉朝日へ。

朝日新聞の購読料は口座振替で
・手数料は一切不要
・手続き簡単
ASA

従業員募集
詳しくは最寄りのASAへお問合せを
・専業従業員
・婦人パート
・学生アルバイト

鎌倉朝日 朝日新聞 発刊協力グループ サービスアンカー

ASA鎌倉本町 長谷二―一九 ☎22・3336
ASA鎌倉中央 二階堂四―七 ☎22・1004
ASA鎌倉雪ノ下 笛吹二四七―二 ☎31・1444
ASA大船駅前 玉縄一―四―一 ☎46・6008
ASA大船駅前 大船四―二―一〇 アーバンハイツ1F ☎38・7222
ASA大船中央 大船四―二―一〇 アーバンハイツ1F ☎38・7222
ASA腰越 腰越市場前通り会二―一―三 ☎0466・27・8716
ASA腰越 腰越市場前通り会二―一―三 ☎0466・27・8716
ASA腰越 腰越市場前通り会二―一―三 ☎0466・27・8716
ASA腰越 腰越市新駅通三―二―二 ☎0466・22・4409
ASA湘南鎌倉 腰越市鎌倉屋二―一―二 ☎0466・34・6624
ASA逗子 逗子市久木一―一―一 ☎0466・87・1228
ASA逗子・追浜 横須賀市追浜町一―八 ☎046・884・4066
ASA葉山 三浦郡葉山町堀内一―八〇八 ☎0046・875・0515
ASA金沢八景 横浜市金沢区釜利谷二―一―一〇 ☎045・701・8616
ASA大船北部 横浜市金沢区釜利谷東四―二―一 ☎045・891・0886

鎌倉といえば・・・
鳩サブレー
豊島屋
http://www.hato.co.jp

お香 香炉 香道具 匂い袋 高級線香 念珠 他
鎌倉に蘇える伝統の香り
香司 鬼頭天薫堂 鎌倉
鎌倉市雪の下1-7-5 小町通り八幡宮寄り
TEL. 0467-22-1081（代）
http://www.tenkundo.co.jp/

八幡宮前・蒲焼専門店
うなぎ 茅木家
☎（22）1460